

グループ編成の違いが学習者に及ぼす影響： 教員編成と学生編成によるグループの違い

和田珠実（中部大学）

キーワード：英語学習、協同学習、グループ編成

【目的】

本発表は、教員によるグループ編成と学生によるグループ編成の違いが、学習者の協同学習認識に差異があるか、また学習者の英語学習にどのような影響を及ぼすかを検討することが目的である。

グループ編成には教員が編成するもの、学生が編成するもの、同質メンバー、異質メンバー、ランダムなどが主としてある。グループ編成で一般的に言われていることは、グループメンバーの多様性を最大化にすることが勧められ、学生自身にグループを選ばせるとあまり成功しないことである（ジョンソンほか、2002）。和田（2008, 2010, 2012, 2013）は、協同学習を組み入れた大学英语授業を教員によるグループ編成で実施した際、学生は協同学習に対して肯定的にとらえることがわかった。そこで本研究では、学生によるグループ編成の肯定的な側面の有無を調べるため、同学生に教員によるグループと学生によるグループ編成で英語授業を受けさせた。

【方法】

1. 対象者：必修英語を通年受講した私立大学2年生24名、内11名が前年度同教員授業履修（協同学習経験者）、理系同学部3学科、前年度受験の実力テストで能力別のクラスに分けられ教員の選択は不可能
2. 授業概要：90分授業を週1回、前後期それぞれ15週、全学共通シラバスの英語リーディングの授業であり、目標は英語の読解力と語彙力の向上であった。互恵的な協力関係、個人の責任が明確、参加の平等性、活動の同時性、対面しての相互作用と社会的スキルを協同学習の基本的構成要素として各授業に取り入れた。グループ編成の違いを検討するため、前期と後期の授業の流れと協同学習の導入方法は同じにした。
3. グループ編成：前期は前年度の一斉到達度確認テストと実力テストによる英語力、学部、学科、男女比、前年度の英語履修クラス歴、協同学習経験歴を考慮し、異質多様な4人グループの編成を教員が決めた。後期は学生自身が自由に4人グループのメンバーを選んだグループ編成であった。
4. 質問紙：「協同効用9項目」「個人志向6項目」「互恵懸念3項目」からなる協同学習認識尺度（長濱・安永・関田・甲原、2009）と、グループ編成による授業の比較をする自由

記述方式が裏表に記されたA4用紙の質問紙を用いた。

5. 調査実施方法：後期の最後の授業内で、一斉配布し記名は任意で回答してもらった。

【結果】

1. 協同学習認識についての結果：

「協同効用」「個人志向」「互恵懸念」
3 因子の平均値を教員編成によるものと学生編成によるもので算出した（表1）。「協同効用」は教員編成より

	教員編成		学生編成	
	平均値	S D	平均値	S D
協同効用	3.91	0.23	3.89	0.16
個人志向	2.57	0.34	2.85	0.33
互恵概念	2.60	0.28	2.60	0.26

り学生編成の方が平均値はわずかに低かった。「個人志向」は教員編成より学生編成のほうが平均値は高く、「互恵懸念」においてはほとんど差異が生じなかった。協同学習認識尺度で調査した結果、今回の被験者には協同学習の認識にグループ編成の差は顕著には表れなかった。

2. 自由記述の結果：学生は、教員によるグループ編成と学生によるグループ編成のどちらの学生も肯定的と否定的な感想を書いていた。前期には、「気を使う、義務感、緊張感、真剣、責任感、恐怖感、不安、大変、自発的、新しい友達、集中力、積極的、英語力、協力、刺激、迷惑」などの言葉があり、後期は、「楽、気軽、安心感、話し合い、楽しい、協力、雰囲気、義務感、緊張感、責任感、人任せ、手抜き、依存、私語」などがあつた。学生の言葉の中から協同学習と英語学習に対して、学生によるグループ編成でも肯定的な側面があることが示された。

今回の後期の学生によるグループ編成の中には、単に同じ学科であるだけというグループや、どこのグループにも属さない者同士のグループがあり、学生によるグループ編成の属性を詳細に調べることが今後の課題である。

【参考文献】

- Johnson, D. W., Johnson, R. T., & Holubec, E. J. (2002). *Circles of Learning: Cooperation in the Classroom* (5th ed.). Edina, MN: Interaction Book Company. [石田裕久・梅原巳代子訳 (2010). 『学習の輪：学び合いの協同教育入門』二瓶社]
- 長濱文与・安永悟・関田一彦・甲原定房 (2009) 協同学習認識尺度の開発 教育心理学研究, 57, 24-37.